

2006年6月15日発行

エコ・リサ通信

第54号

NPO法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会会報
発行人 高木 康夫

2006年(平成18年)5月20日(土) 午後1時30分から大宮ソニックシティビル702号室にて、第2期通常総会が開かれました。

《来賓からの祝辞・賛助金の贈呈》会長挨拶の後、埼玉県環境部資源循環推進課、副課長・野口 勝様からご祝辞をいただき、また、(社)日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会副会長・栗田和則様よりご祝辞と寄付金の贈呈がありました。

続いて午後2時40分からテーマ「県内各市町村のごみ処理費用について」

講師：竹村 元宏(埼玉エコ・リサイクル連絡会・ごみを知ろう委員会)
による記念講演を行いました。



野口副課長



高木会長とJCT野口副会長

《総会成立状況》会員総数141(4/1現在)、出席数85(本人出席37、委任状48)の定足数を満たして成立しました。第1号議案から第8号議案までの決議が行われました。資料の中より定款変更・会費改正および役員選任などを抜粋し掲載します。

第1号議案 2005年度 事業報告書承認の件

宮田事務局長より事業報告書の内容につき概要を説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

第2号議案 2005年度 財産目録、貸借対照表及び収支計算書承認の件

高橋副会長より財産目録、貸借対照表及び収支計算書の内容につき概要を説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

第3号議案 定款第5条変更の件 変更前

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 特定非営利活動に係る事業
調査研究事業



県内の類似の目的を持つ団体、個人の交流とネットワーク作りの事業
情報収集、情報交換など、情報ネットワーク作りの事業
環境学習などの普及啓発事業
国や自治体等に対する政策提言、要望などの活動
国や自治体、事業者との協働を推進する事業

変更後

(1) 特定非営利活動に係る事業

調査研究事業

県内の類似の目的を持つ団体、個人の交流とネットワーク作りの事業
情報収集、情報交換など、情報ネットワーク作りの事業
環境学習などの普及啓発事業

国や自治体等に対する政策提言、要望などを行う事業

国や自治体、事業者との協働を推進する事業

上記各号に付帯する一切の事業

第4号議案 定款第33条変更の件

変更前

(理事会の招集)

第33条 理事会は、会長が招集する。

2 理事長は、前条第2号の規定による請求があったときは、その日から20日以内に理事会を招集しなければならない。

変更後

第33条 理事会は、会長が招集する。

2 会長は、前条第2号の規定による請求があったときは、その日から20日以内に理事会を招集しなければならない。

第5号議案 入会金および会費の件

変更前

(1) 年会費	個人会員	<u>2000円</u>
	団体会員	<u>3000円</u>

変更後

(1) 年会費	個人会員	<u>3000円</u>	平成19年度会費より執行する
	団体会員	<u>5000円</u>	

第6号議案 細則の変更

第3章 役員会(第6条~第10条)

条文全て「役員会」となっているが、本会の本年度は「運営委員会」で招集されるため、「運営委員会」として文章の統一を行う。

第7号議案 2006年度役員選任の件

会長 高木康夫

副会長 石川恵輪 高橋茂仁(会計担当) 土淵 昭 園田真見子

事務局 宮田尚美(専務理事・事務局長) 原田 史(事務局次長) 大前万寿美

理事 上領 園子 神山 憲秀 中澤 啓子 清水 守

監事 島田 憲一 平田 繁

記念講演 ごみ処理原価について

発表報告者 ごみを知ろう委員会 竹村元宏 中澤啓子

ごみ処理の原価計算の必要性について<研究目的>

市町村のごみ処理費用は財政の約5%を占めており、人口7万人の北本市を例にあげると、8億円のごみ処理費用がかかっている。小学校1校を建てる費用が7.7億円程度なので、これは、小学校1つ分を燃やしているといえる。現在、市町村が有料化を進める中で住民に対し現況を説明するための数値が必要となっている。



ごみ処理費用に関する国の統計資料について

環境省は、1年に1回、2年遅れだが数量と費用を公開している。これにより市町村間でのトンあたりのごみ処理費用の比較が可能となり、高いまちと低いまちで3倍もの差があることがわかる。

半年間の調査でわかってきたこと



ごみを知ろう委員会が現在進めている調査で、ごみ処理直営の自治体26からの回答率は88%、一部事務組合16からの回答率は81%であるが、一部事務組合構成自治体63からの回答率は40%になっている。

私たちが知りたい原価情報とは、自分が分別して出したごみや資源回収品の原価の内容であり、可燃ごみや不燃ごみごとの1トンあたりの原価である。しかし、市町村には固定資産台帳が無いので減価償却計算のしようがなく、減価償却費を発表しているのは川越市くらいであり、調査の中で分別品ごとに費用を積算しない自治体があることがわかった。分別品ごとの数量は把握しているが、分別品ごとの処理原価は計算していない自治体が相当あり、アンケートの答えが完全でなく、管理システムが不備。分別品ごとの費用項目別原価はほとんど無いに等しい。

原価計算が低調な理由として、自治体はお金について関心が薄い。原価計算のやり方が決まっていない。住民もごみ処理費に対する関心が低い。などが考えられる。

平成15年度埼玉県内市町村のごみ処理解析表からトン当たりの原価を比較すると、20000円台のところから40000万円台あたりのところが多く、2倍以上の開きが見られる。

今後の調査の方向と方法について

この調査を充実させるためには、地元の会員や住民、環境団体とタイアップして調査をすることが必要であります。必要な情報を入手するために、地元住民が地域の行政担当者と話し合うことが、その自治体のごみ処理についての改善を進めることに役立つ事になります。また、この問題でエコ・リサが地元の住民や環境団体とタイアップすることは、エコ・リサの組織の充実と活性化にも貢献するはずでず。

今までわかった事を、地元の住民に伝えながら研究を進めたいと思いますので、エコ・リサの組織を挙げての協力をお願いします。 <報告 大前万寿美>

環境学習会 in さいたま市

「容り法で自治体負担が増える?!」の真偽

「プラスチックリサイクル」をすすめる理由をコストと健康調査から見る

日時：7月22日(土) 午後1時半から4時(1時より受付開始)

資料代 300円

会場：大宮 ソニックシティビル705号 (大宮駅西口から徒歩5分)

講師 ごみ問題5市連絡会 青木 泰さん(東村山市在住)

(5市とは・・・保谷市、田無市(この2市は合併)清瀬市、東久留米市、東村山市)
数年前まで、東京都などでは、廃棄プラスチックは焼却不適物として扱われてきました。廃プラを燃やせば、ダイオキシンなどの化学物質や重金属汚染がもたらされることは、知られています。環境負荷を考えれば、燃やさず、埋め立てず、再生利用したい。ところが、自治体負担が増えるということで、二の足を踏む・・・という話がよく聞かれます。

「市民参加のごみ減量プラン」の先駆けとなった東村山市の「秋水園再生計画」にも深くかわり、秋水園、柳泉園などごみ処理施設の問題を追及し、改善を求めてきた、青木さんを講師にお迎えし容り法のポイント、小中学校の健康調査の中で、特にぜんそくの罹患率を調査・集計した結果などをご報告いただきます。

小学生環境講座 1

報告者：幸手市民環境会議・エコ・グリーン幸手 橋本隆夫

6月7日(水) 幸手市立権現堂川小学校(北嶋文人校長、幸手市神明内570)の4年生14名を対象に、くらしと環境の会の園田真見子さん、グリーンコンシューマー委員会の大前万寿美さん、宮田尚美さんを講師にごみの環境学習会をテーマに「小学生環境講座」が開催されました。



「君達どんなモノをごみにしているのかな?」との質問から始まり、『生ごみ』『紙くず』などと手が挙がり、反応が良い。講師の大前さんも、いつもと勝手が違ったのか少し戸惑い気味ながら笑顔と冗談を交え「ごみを捨てている生活」、「地球温暖化」、「環境汚染」と進み、園田さんの「生ごみ再利用」の学習まで一気に進む。ダンボールの堆肥作りが紹介され、生徒全員が、ダンボールに手を突っ

込み、暖かいことにびっくり、微生物の働きにより堆肥が生きていることを実感して大騒ぎ。

また「環境クイズ：ウソ・ホント」に生徒は大喜び、熱心さにあおられて用意した12問全て実施。「飲料用自動販売機」の話では自販機からジュースを買うのは、大多数の生徒が月1回程度であり、あまり興味を示さなかったこと。また、「ペットボトルのリサイクル」、「テレビの節電」には興味を示したが、新聞紙のトイレトペーパーの話は、昔の便所の環境が理解できないのだろうか、不思議そうな顔をしていたことが印象に残った。

ダンボール堆肥に興味しんしん!

休憩を挟み宮田さんによる「買い物ゲーム」が行われました、6種類(ノート・お茶・シャンプー・煎餅・カップ麺・ポテトチップ)の品物を実際に手に取り、表示を見て環境に優しい品物は何かを同じ班の生徒と熱心に話し合うなど楽しそうであった。

「マイバッグ・コンテスト」では気に入ったバッグを選んでもらい、買い物に行く時には持って行き「レジ袋はいりません。バッグを持ってきました。」

「シールでいいです。」と言えるかな、を約束して終了した。





マイバッグを選ぶ生徒たち

この講座は、幸手市で第一回目の開催であったことから、生徒の環境に対する関心・興味の持ち方など手探りの状態からの準備であり、講座の内容や進め方などの検討に時間を要したが、講座を開始すると生徒の反応も良く、順調に計画どおり実施できた。

同校ではこのような学習は初めての経験で、最初は何が始まるのか不安そうだった生徒も最後には、「これまではただ欲しい物を買っていたが、これからは“ごみ”

のことも考えて買い物する。」「これからは、リサイクルできる物を買う。」「植物からできている物は地球のためになることがわかった。」「袋はやめて、シールにする。」など講義内容がよく理解された生徒からの感想が述べられた。

北嶋校長は講義の初めから終わりまで参加し、終了後に実施した担任の浜田先生と講師との話し合いにもご出席いただき「生徒も“ごみ”に関心を持てたようでよかった」との評価をいただいた。当小学校では、環境教育の一環として「ケナフ」の育成など自然や植物に親しむ授業に取り組んでおり、生徒の環境に対する意識・関心の高さには感心した。

夏の「エコライフDAY 2006 埼玉」の実施について

(キャンペーン期間 6月～8月)

県では、地球温暖化防止に向け、家庭からの二酸化炭素排出の削減のため、環境に配慮した省エネ・省資源のライフスタイルを普及させるきっかけづくりとして、平成17年度から「エコライフDAY」に取り組んでいます。埼玉エコ・リサイクル連絡会では会員の皆様にも参加をお願いします。参加方法は下記の2通りからお願いします。

- (1) 参加団体ごとにチェックシートを配布・集計する方法。
- (2) ホームページから参加する方法。

- ・ 温暖化対策課 <http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BE00/index.html>
- ・ 埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.kannet-sai.org/ecolife/index.html>



[年間キャンペーン]平成18年度は「彩の国ごみゼロプラン」の最終目標年です

目標達成をめざしてひとがんばりしよう！

	平成6年度実績	平成14年度実績	平成18年度目標
ごみ排出量	226万トン	259万トン	190万トン
資源化量	22万トン	39万トン	50万トン
最終処分量の県外処分割合	40%	35%	0%

生活系ごみは、平成13年度から減少しています。もうひとがんばり！

注：ごみ排出量、資源化量に集団回収量は含まれていません。

県外処分量については別紙参照

焼却ごみの解析からポイントをつかむごみを知ろう委員会 集計データ

平成16年度の焼却ごみ

三成分 可燃分41% 灰分7% 水分52%

組成分析 湿ベース 生ごみ(厨芥類) 42%

落葉、剪定枝など(木・竹・ワラ) 12%

分別して循環利用可能な未利用資源が54%も含まれています。

(1)ワンステップ濡らさず ツーステップ乾かして スリーステップ 堆肥化しよう！

「お茶っ葉のひとしぼり運動」をひろげよう！

飲んだ後の、一回分の茶葉は50g しぼり袋でしぼると20g減量

1世帯一日20グラム減量 埼玉県265万世帯で1年間に約2万トンもの減量

しぼり袋が化繊のワイシャツ等の古布で、手作りできます。(実物大型紙さしあげます)

生ごみ、落葉、剪定枝の循環は埼玉県内でひろがっています。別紙参照

(2)リデュース…各個人が「捨てたあとの処理」も考えて買い物を！

グリーンコンシューマーになろう！

おしゃれなマイバック持参して、レジ袋は断ろう！

(3)リユース・リペア…使えるものは修理して！ 不用品は必要とするひとに！

ホームページ「彩の国リサイクルデータバンク」には役立つ情報が満載！

<http://www.fuyo-hin.com/top.html>

賛助団体のご紹介

(株)谷澤商会	富士見市
(株)大任工務店	熊谷市
(株)さしま通商	幸手市
(株)清水金物	秩父市
(株)相馬建設工業	川口市
(株)高読	幸手市
吉見商事(株)	熊谷市
森田光一さん	東松山市
(株)読売旅行春日部営業所	春日部市
(株)広栄	川口市
(社)日本青年会議所	関東地区埼玉ブロック
協議会	...順不同...

ご支援・ご協力ありがとうございます。

エコ・リサ連絡会 入会のご案内

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

会費(年間)	個人会員	2,000円
	団体会員	3,000円
	賛助会員	10,000円(1口)

お願い:エコ・リサでは、常時会員募集を行っています。よろしく願いいたします。

*振込み先・会費納入の際のご注意

郵便振替口座番号 00110-7-764571 加入者名 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会

埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 5392559

名義 特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会

郵便振替で入金される方は、お手数ですが通信欄に新規会員あるいは 会員 年度分と明記の上、お振り込みをお願いいたします。(事務局)

〒330-0846

事務所のご案内

さいたま市大宮区大門町 3-205 新井ビル303号室
(JR大宮駅東口から徒歩8分)

FAX 048-642-6163 <http://www.townnavi.info/eco-risa>

編集後記

クールビズ! エコ宣言! 環境 運動! 官庁や企業を始め様々な“エコ”を取り上げて消費者に訴えています??? 焼け石に水とならないようにと祈るばかり! 今年の夏も厳しい暑さがとささやかれている。パソコンの普及でペーパーレスのつもりだったが、我が家では使用済みの紙が増えている、なぜ??? 宮田